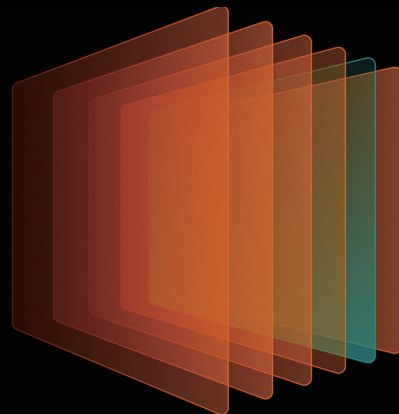


日本医療検査科学会第58回大会 ランチョンセミナー18



www.siemens-healthineers.com/jp

病院DXと高度医療が拓く未来： 医療安全・働き方改革と臨床検査プラットフォームの展望

日 時：2026年10月10日(土) 12:00～12:50

会 場：第4会場(神戸国際会議場 4階 401+402)

座 長：稲葉 亨 先生

京都府保健環境研究所 所長

京都府立医科大学 感染制御・検査医学 特任教授

演 者：佐和 貞治 先生

京都府立医科大学附属病院 病院長

病院DXや高度医療の推進により、医療現場はどのように変化しているのか。

京都府立医科大学附属病院の取り組みを通して、これからの臨床検査部門に期待する役割と今後の可能性についてご講演いただきます。

本ランチョンセミナーは整理券制となっております。

9月1日(火)10時から9月15日(火)17時までの間に学会ホームページから事前参加登録をすると、登録時にランチョンセミナーの整理券事前予約がおこなえます。

事前申し込み後の残数につきましては、セミナー当日の朝に配布されます。

詳細は日本医療検査科学会第58回大会のホームページをご確認ください。

※整理券の予約・配布はいずれも無くなり次第、終了とさせていただきます。

共催：日本医療検査科学会第58回大会

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社



一般社団法人

日本医療検査科学会

The Japan Association for Clinical Laboratory Science

SIEMENS
Healthineers

病院DXと高度医療が拓く未来： 医療安全・働き方改革と臨床検査プラットフォームの展望

演者：佐和 貞治 先生

京都府立医科大学附属病院 病院長

セミナー概要

近年、少子高齢化に伴う医療需要の複雑化や医師の働き方改革への対応など、病院経営は大きな転換期を迎えている。当院ではこれらの課題に対し、病院デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進と高度な先進医療体制の構築を軸とした変革を精力的に進めてきた。

業務効率化と患者サービス向上の両立を目指したDX推進では、「Saku 洛連携」によるウェブ外来受診予約システム、病床管理支援システム、医療説明業務支援サービス、および説明同意書のペーパーレス電子化システムを順次導入した。これに伴い、病院4階エリアに「患者サポートセンター」を新設し、入退院支援機能の充実を図っている。さらに、電子カルテ内での生成AI利用やリモートアクセスの環境整備、音声の日本語化による診療記録記載システム、病床管理における早期警戒システム（EWS）などを一挙に導入し、医療安全の強化と現場のタスクシフト・働き方改革を具現化してきた。

また、高度医療の分野では、手術支援ロボットの3台目導入や最新のAI支援血管造影装置の稼働により低侵襲かつ精密な医療を展開する一方、京都府指定の第一種感染症指定医療機関として、パンデミック後も懸念される新興感染症患者の即時受け入れ体制を常時整備している。

このような激変する病院インフラの中で、医療安全と質の向上を担保する要となるのが臨床検査および臨床検査技師の役割である。今後は、各現場に分散する検査機器の一元管理や品質管理の標準化に留まらず、IoTに基づく検査データのクラウドデータベース化、そしてダッシュボードによる可視化を統合した「インテリジェンスプラットフォーム」の構築を検討していく必要がある。本セミナーでは、当院のDXと高度医療の実践を共有し、次世代の臨床検査が果たすべきイノベーションへの期待を展望する。

展示ブースのご案内

学会期間中、神戸国際展示場3号館（小間番号D-6）にて展示を行っております。

病棟に点在するPOCT機器を効率的に一元管理できるAtellica Connect POCインサイトをはじめ、POCT関連製品を展示しています。

製品を実際に見て、触れていただきながら、臨床現場の運用改善や業務効率化を支援するソリューションをぜひご体感ください。

3号館

